

令和5年度 富士宮市立富士根南中学校グランドデザイン 4. 01

■ 教育活動の基本理念:「一人一人の子供は、かけがえのない存在である」
 ■ 目指す子供像:「富士山を心に、夢をもって生きる子」(富士宮市)

これからの生徒に求められる力
 OECD学びの羅針盤「ラーニングコンパス」
 「より良い未来の創造にむけた変革を起こす力」
 ・新たな価値を創造する力 (①③⑤⑨⑩)
 ・対立やジレンマに折り合いを付ける力 (④⑥⑧⑩)
 ・責任ある行動をとる力 (②⑤⑦⑨⑩)

国 ◆「令和の日本型学校教育」の構築
 ・全ての子どもたちの可能性を引き出す、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現

県 ◆静岡県教育振興基本計画 ふじのくに『有徳の人』づくり
 ・「文・武・芸」三道の鼎立の実現
 ・未来を切り拓く多様な人材を育む教育の実現
 ・社会総がかりで取り組む教育の実現

本校の強みとよさ

生徒 物事に集中して取り組むことができる
 責任感があり、任されたことはやり抜く
 仲間を大切にできる気持ちがある

教職員 生徒主体の授業・活動づくりを考えている
 組織に個の力を活かそうとできる

保護者 PTA役員の協力態勢が強固である

地域 学校に対する愛情と協力態勢がある
 輝南会という学校応援組織がある

市 ◆学校教育課 令和5年度主要施策
 ・学校づくりへの支援
 ・確かな学力が育つ授業の充実
 ・人間関係を築き、徳のある人間性とたくましい体を育てる環境づくり
 ・学校の安全・安心の一層の推進
 ・学校・家庭・地域の連携と協力

校訓・正義
 ・自由
 ・努力

富士根南小学校教育目標
 夢を持って、自ら考え学ぶ子

富士見小学校教育目標
 共に学び、めあてに向かう富士見の子

学校教育目標:「こころざしをもち、学び合う 輝南の生徒」

重点目標

- ・人生や社会で、生きて使えるレベルの知識・技能を身に付ける
- ・他者を尊重して対話し、情報を吟味・活用して正しく判断する
- ・自己を肯定し仲間と共に、見通しを持って最後までやり抜く

富士根南中で生徒に育てたい資質・能力 (南中生、十の力) 「生徒エージェンシー」の獲得

生きて働く知識・技能の習得	未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力の育成	学びに向かう力・人間性の涵養
① 物事の本質を理解する力	④ 情報リテラシー (吟味し活かす力)	⑦ 主体性 (自分事として捉え、見通す力)
② 学んだことを自分に結び付ける力	⑤ 自分で判断し、決断する力	⑧ 協働性 (目的を共有し、協力して活動する力)
③ 汎用力 (概念的な知識・転用可能な技能とする力)	⑥ コミュニケーション能力	⑨ 自己を統制し、やり抜く力
⑩ 自分の学びや行動を振り返り調整する力 =メタ認知力		

Action

R5 課題解決への具体策と改善方針・重点取組

主要取組部	取組内容
○	生徒に必要感がある「単元を貫く課題」を用いた単元構想を設定し、自己調整しながらゴールを目指す。
○	1人1台端末を活用し授業と家庭学習を往還させ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実践する。
○◇	生徒一人ひとりが「知りたい、学びたい」と思える課題を設定して、輝南学習の探究を深めていく
△◇◎	生徒・職員が、本校の「時を守り、場を清め、礼を正す」姿を共有し、これを徹底する。
○◇△	学級づくりを通して、学習基盤と規律を整え、生徒が仲間と高め合う活動を支援・指導する。
◇◎△	生徒・職員それぞれが様々な活動の目的や意義を共通理解し、個々の目標を明確にする。
○△◇◎	分掌群リーダー部会を設置。4部会それぞれがPDCAサイクルを各学期1回以上回す。
△◇◎	デジタル情報に触れる機会を意図的に増やし、情報の使い方を振り返る場を設定する。
◎◇○	ゴールの姿を明確にイメージして企画し、自らの取組を調整しながら進める。
◎○◇	地域行事の参加及び授業参観や行事参観を積極的に行い、学校を地域社会に開く。

Plan 学校経営目標: 生徒が自ら主体となり、互いに協働する学校づくり



Check

R5への課題は

- ◆生徒のやる気、意欲を引き出す単元構想の工夫と「深い学び」へ導く視点からICTを活用した授業改善を進め、「学び合い、楽しく、分かる授業」を創出すること。
- ◆教職員、生徒、保護者ともに、授業と家庭学習のつながりがまだ弱いと感じている。
- ◆教職員、生徒ともに探究学習の意義を理解し、輝南学習の探究を深める必要がある。
- ◆教職員、生徒とも「時を守り、場を清め、礼を正す」取組が不十分であると感じている。
- ◆生徒の居場所・活躍の場を確保し、自己存在感や自己効力感を高めていく必要がある。
- ◆各分掌の取組目的を全職員が共通理解し、一つの取組に全ての職員が連動するようになること。
- ◆情報リテラシーの獲得を目指しつつ、情報を吟味し活用する力を育むこと。
- ◆教職員、生徒ともにあらゆる取組に対して見通す力を持てるようになること。
- ◆国や県のコロナ対応に則ったうえで、地域との連携を深めること。

R4 学校経営目標での評価観点 (趣旨)

	R4 生徒	R4 教員	生徒目標値
・みんなで、学び合う授業は楽しく、授業の内容が分かるようになる。	85.5	100	90%
・授業で学習したことを生かして、宿題や自主学習に取り組んでいる。	78.4	100	85%
・輝南学習では、興味をもって調べたい課題を見つけ、意欲的に追究を続けている。	76.1	100	90%
・自分で進んで取り組める活動が学校生活の中にある。(自己指導能力の向上)	88.6	100	95%
・「時を守り、場を清め、礼を正す」を意識して生活している。	84.8	77.1	90%
・こころざし(夢や目標・目的意識)をもって生活している。	83.4	100	90%
・同じ目標や目的を達成するため仲間と協力し合い、自分ができる努力をしている。	88.6	100	95%
・必要な情報は何かを理解・判断し、その中から信頼できる情報を目的に合わせて活用している。	90.9	100	97%
・道徳の時間は自分の生活を振り返ったり、生き方を考えたりするよい機会となっている。	88.8	100	95%
・物事に対し見通しをもって取り組み、最後までやり抜こうと努力できる。	88.6	100	95%
・地域行事に参加したり、地域の人の話を聞いたりして、地域の人たちと関わりあっている。	63.2	97.1	75%

社会に開かれた教育課程の実現 (学校・家庭・地域の連携・協力の推進)

地域との連携 (横の連携)	保護者・家庭との協働	小・高との連携 (縦の接続)
<input type="checkbox"/> 輝南会 (PTA+C) との協働 <input type="checkbox"/> 地域の人的教育資源の積極的な活用 <input type="checkbox"/> 根南中校区成人式実行委員会への協力 <input type="checkbox"/> 地域行事・防災訓練等への積極的参加	<input type="checkbox"/> PTA活動への参加・協力 <input type="checkbox"/> 適時・適切な情報発信 (たより、HP、参観会) <input type="checkbox"/> 輝南会、地域の活動の支援要請 <input type="checkbox"/> 学校評価・各種アンケートの実施	<input type="checkbox"/> 9年間を通して育てたい子ども像の共有 <input type="checkbox"/> 小中合同研修会の実施 (学びの一貫性、連続性) <input type="checkbox"/> キャリア教育の充実 (円滑な移行) <input type="checkbox"/> 小6の体験入学、近隣高校との情報交換